

## 市大祭と「ホームカミングデー」

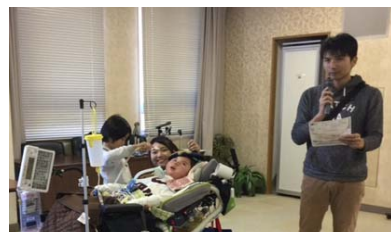
11月12・13日、名古屋市立大の滝子キャンパスで恒例の市大祭が開催された。毎年遅めの11月中旬に開催され、北風が吹き寒さを感じることも多いが、今年は秋晴れの暖かい「まつり日和」だった。写真上は昨年「人文社会学部20周年記念式典」で植樹された桜である。目の調子が悪く眩しくて、植樹もよく見えなかった。2日後に市大病院で急きょ診察を受け、入院・手術が決まる。あれから一年、早いものだ。



市大祭に合わせて学部「ホームカミングデー」が開催されるようになって、今年で7回目になる。確か藤田さんが学部長のときだと思う。同窓会を「どうそうかい？」などと言っていたが、これを機に活発に活動するようになった。年に一度、卒業生に会えるのが楽しみだが、今年はいつもと違うこともあった。12月3日「みんなの学校」上映会&シンポジウムの案内である。早めに行って、受付にチラシを置かせてもらい、正門で市大祭スタッフに「臨時駐車」の依頼をした。京ちゃん（林京香さん）ファミリーが来てくれるからだ。すぐに対応してくれたスタッフの皆さんに感謝したい。

写真中は「ホームカミングデー」で挨拶する京ちゃん父の林智宏さん。チラシを手に、卒業生らに参加を呼びかけた。京ちゃんはじっとお父さんの挨拶に耳を傾けている。話がながいと、ちゃんと目で合図をするという。今日はじつに満足そうな表情だった。私も今回の挨拶が「最高だ」と伝えた。この3年で、京ちゃんの表情が読みとれるようになってきた。

もうひとつ印象的なのが、京ちゃんの世話をする妹のちーちゃん（千陽さん）。本当に仲のよい、小学5年と3年の姉妹だ。おなじ堀田小学校に通学するのを、いちばん喜んでいるのが、妹ちーちゃんだ。ちーちゃんは、とにかく元気一杯で動きが素早い。名物「農園」など、たっぷりと大学祭を楽しんだようだ。こうして姉妹が市大祭に来てくれるのは3年ぶり。二人とも大きく成長した。京ちゃん・ちーちゃんは「晴れ娘」という。おかげで今年の市大祭は絶好の秋晴れだった。植樹された桜も、姉妹のように成長してほしい。



写真下は、玄関横に置かれた12月3日の案内掲示板。若き三浦哲司先生が作ってくれたものだ。感謝したい。看板倒れにならないように、「つどい」を成功させなくては。三浦先生は名物「農園」をはじめ、地域連携などで大活躍している。若い先生や元同僚の活躍ぶりを知ることは、なんとも嬉しいものだ。



(2016年11月15日)